

○基本情報

		記載日	平成27年9月9日
団体名	公益財団法人神戸市スポーツ教育協会	所管局名	教育委員会事務局
設立目的	神戸市におけるスポーツの普及及び競技力の向上を図るとともに、教育・健康増進に関する事業を行い、もって市民の健全な心身の発達及び保持に寄与することを目的とする。		

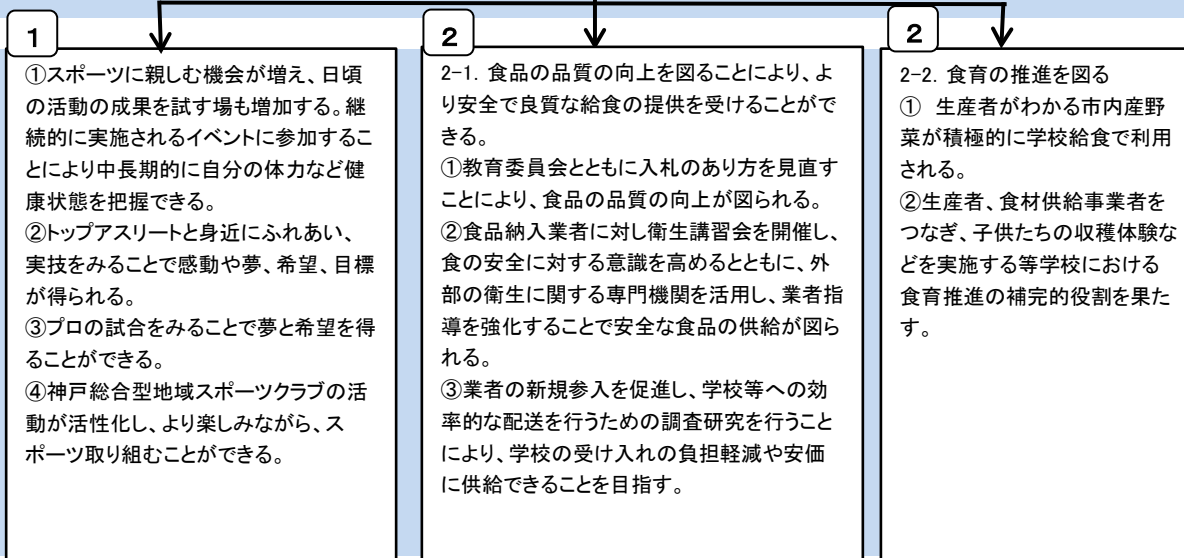
M

市が団体に求めるミッション
Mission

長期	神戸市におけるアマチュアスポーツ及び生涯スポーツの普及振興を図るとともに、教育・健康増進に関する事業を行い、もって市民の将来にわたる健全な心身の発達及び保持に寄与する。また安全・安心な学校給食食材の調達を廉価で安定的に行う。
5年	<p>1 市民スポーツ大会等の開催及び神戸総合型地域スポーツクラブの活動支援に努め、加盟団体等との連携をはじめとする独自のノウハウに基づき、公益事業として市民がスポーツに親しめる環境を作ること【指標例：大会の開催など】</p> <p>「神戸市スポーツ振興プラン」(「神戸市基本計画の部門別計画「神戸市生涯学習総合計画」の下位計画)で定める「スポーツに親しむ機会・場の提供」について、市民が日常的に気軽にスポーツ活動そのものの楽しさや成果を実感できるようなイベントを開催する。また、「神戸総合型地域スポーツクラブの充実」に関連して、各クラブが今後も自主財源を主として運営され、継続して活動していけるための支援を行う。</p> <p>2 昭和27年から学校給食食材の共同購入を行ってきた実績を基に、安全で安心な給食食材を確保するために品質の向上を目指すとともに、市内産野菜の使用などにより食育の推進を図る。 【指標例：市内産野菜の品目数、登録業者数、衛生講習会の開催回数】</p>

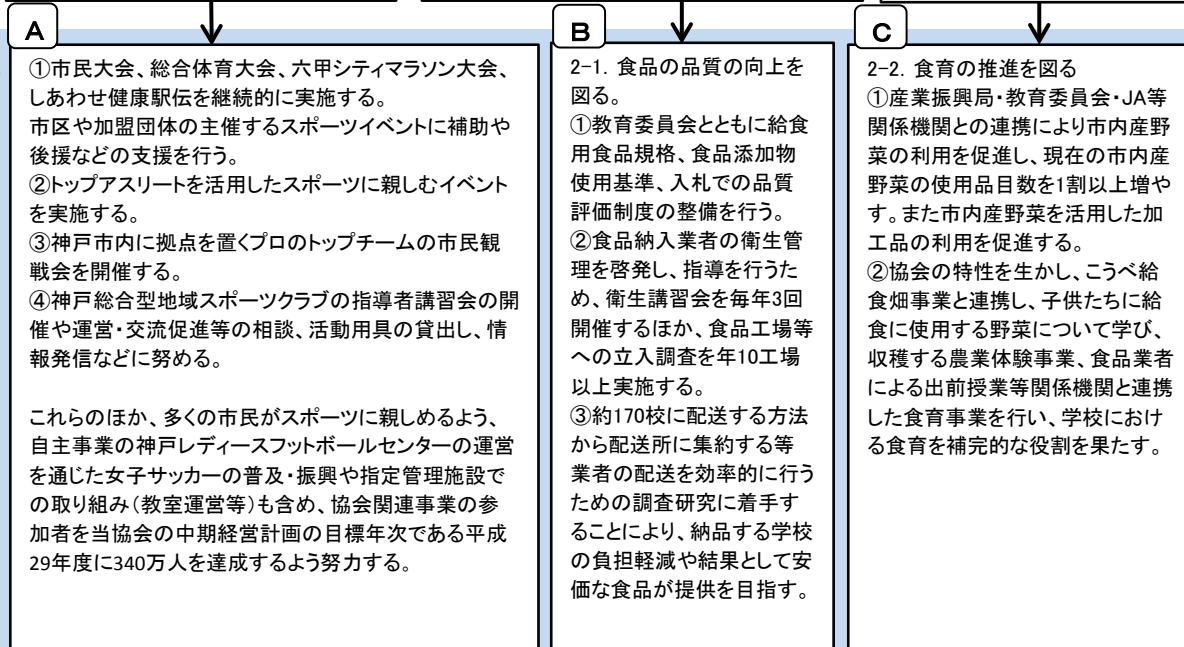
V

市民が提供する価値
Value



T

事業目標
Target



A

①市民大会、総合体育大会、六甲シティマラソン大会、しあわせ健康駅伝を継続的に実施する。市区や加盟団体の主催するスポーツイベントに補助や後援などの支援を行う。

②トップアスリートを活用したスポーツに親しむイベントを実施する。

③神戸市内に拠点を置くプロのトップチームの市民観戦会を開催する。

④神戸総合型地域スポーツクラブの指導者講習会の開催や運営・交流促進等の相談、活動用具の貸出し、情報発信などに努める。

これらのほか、多くの市民がスポーツに親しめるよう、自主事業の神戸レディースフットボールセンターの運営を通じた女子サッカーの普及・振興や指定管理施設での取り組み(教室運営等)も含め、協会関連事業の参加者を当協会の中期経営計画の目標年次である平成29年度に340万人を達成するよう努力する。

B

2-1. 食品の品質の向上を図る。

①教育委員会とともに給食用食品規格、食品添加物使用基準、入札での品質評価制度の整備を行う。

②食品納入業者の衛生管理を啓発し、指導を行うため、衛生講習会を毎年3回開催するほか、食品工場等への立入調査を年10工場以上実施する。

③約170校に配送する方法から配送所に集約する等業者の配送を効率的に行うための調査研究に着手することにより、納品する学校の負担軽減や結果として安価な食品が提供を目指す。

C

2-2. 食育の推進を図る

①産業振興局・教育委員会・JA等関係機関との連携により市内産野菜の利用を促進し、現在の市内産野菜の使用品目数を1割以上増やす。また市内産野菜を活用した加工品の利用を促進する。

②協会の特性を生かし、こうべ給食事業と連携し、子供たちに給食に使用する野菜について学び、収穫する農業体験事業、食品業者による出前授業等関係機関と連携した食育事業を行い、学校における食育を補完的な役割を果たす。

平成29年度 ミッションの達成評価シート1 [1次評価]

		記載日	平成30年9月5日
団体名	神戸市スポーツ教育協会	所管局名	教育委員会事務局

○団体による自己評価[1次評価]

事業No.	1-A	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 1)
H29事業目標	<p>①市民大会、総合体育大会、六甲シティマラソン大会、しあわせ健康駅伝を各1回開催する。市区や加盟団体からの申請により、それらの団体が主催するスポーツイベントなどに補助や後援などの支援を行う。</p> <p>②トップアスリートを活用したスポーツに親しむイベントを3回以上実施する。</p> <p>③神戸市内に拠点を置くプロのトップチームの市民観戦会を8回以上開催する。</p> <p>④神戸総合型地域スポーツクラブの指導者講習会として、スポーツリーダー及びアシスタントマネージャーの講習会を各1回開催する。同クラブの求めに応じて、運営・交流促進等の相談、活動用具の貸出しを行う。広報誌での情報発信を年6回行う。</p> <p>これらのほか、神戸レディースフットボールセンターのさらなる利用促進を図り女子サッカーの普及・振興につなげるとともに指定管理施設での各種教室についても充実させていく</p>		
H29実績評価	<p>①市民体育大会(H28:40,655人→H29:43,487人 1競技増)、総合体育大会(H28:13,522人→H29:13,236人)、六甲シティマラソン大会(H28:4,673人→H29:6,816人)、しあわせ健康駅伝(H28:11,016人→H29:4,815人)を継続実施した。全国級のスポーツイベントに対し、大会運営経費の助成、広報等による支援を行った(6件)。加盟競技団体、区体育協会、神戸レクリエーション協会の運営・活動に対する支援として、加盟団体やスポーツ団体等が行うスポーツイベントに後援を行った(H28:110件→H29:99件)ほか、加盟団体の競技力向上のための強化練習についての支援(19種目)を行った。</p> <p>②トップアスリートとの交流機会の提供として、小中学生から大人までを対象に、オリンピック出場選手などトップアスリートによる各種教室を実施した。(ランニング教室、サッカー教室、バレーボール教室、水泳教室、フットサル教室、ウェイトリフティング教室など 8教室・9日間)</p> <p>③ヴィッセル神戸(4回)、INAC神戸レオネッサ(3回)、神戸製鋼コベルコスティーラーズ(3回)、デウソン神戸、久光製薬スプリングス(それぞれ各1回)(計12回)</p> <p>④神戸総合型地域スポーツクラブの指導者育成・支援、地域スポーツクラブ間の交流支援及びスポーツリーダー等への安全講習会を行った。同クラブの求めに応じて、指導員を派遣し、ニュースポーツなどの体験事業を実施した。市民等への情報提供事業として、機関誌「神戸体育」(1,000部)、「スポ教つうしん」(年6回 150,000部)を発行したほか、スポーツ教育協会ホームページによる情報提供を行った。</p> <p>神戸レディースフットボールセンターは、平成24年度の開設以来、利用率が高水準で推移しており、女子サッカーの普及・振興につながっている。指定管理施設での各種教室の運営についても、利用者の声を聞きながら、充実に努めている。(教室数 H29:362教室 受講者数 H29:23,174人)なお、平成29年度までの協会関連事業への参加者数は、350万人(指定管理施設事業 256万人、スポーツ振興事業 94万人)となっており、中期経営計画の目標年次29年度の目標値340万人(指定管理施設事業250万人、スポーツ振興事業90万人)を上回っている。</p>		<p>評価</p> <p>S</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p>
H30事業目標	<p>①市民大会、総合体育大会、六甲シティマラソン大会、しあわせ健康駅伝を各1回開催する。市区や加盟団体からの申請により、それらの団体が主催するスポーツイベントなどに補助や後援などの支援を行う。</p> <p>②トップアスリートを活用したスポーツに親しむイベントを3回以上実施する。</p> <p>③神戸市内に拠点を置くプロのトップチームの市民観戦会を8回以上開催する。</p> <p>④神戸総合型地域スポーツクラブの指導者講習会として、スポーツリーダー及びアシスタントマネージャーの講習会を各1回開催する。同クラブの求めに応じて、運営・交流促進等の相談、活動用具の貸出しを行う。広報誌での情報発信を年6回行う。</p> <p>これらのほか、神戸レディースフットボールセンターのさらなる利用促進を図り女子サッカーの普及・振興につなげるとともに指定管理施設での各種教室についても充実させていく</p>		
評価担当者	公益財団法人神戸市スポーツ教育協会 総務課長 仲島 竜哉		

平成29年度 ミッションの達成評価シート1 [1次評価]

		記載日	平成30年9月5日
団体名	(公財)神戸市スポーツ教育協会	所管局名	教育委員会事務局

○団体による自己評価[1次評価]

事業No.	2-B	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 2)
H29事業目標	①業者衛生講習会 3回以上の実施 ②10以上の食品工場等への立ち入り調査		
H29実績評価	①業者衛生講習会 3回実施(8月、12月、3月) ②食品工場等への立ち入り調査 14回		評価
			S A B C
H30事業目標	①業者衛生講習会 3回以上の実施 ②10以上の食品工場等への立ち入り調査 * 食品工場調査について毎年計画的に実施し、年10回が適切であると判断。		
評価担当者	公益財団法人神戸市スポーツ教育協会 総務課長 仲島 竜哉		

事業No.	2-C	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 2)
H29事業目標	①市内産野菜を活用した加工品の給食利用 ②給食利用の市内産野菜の品目数の増 ③農業体験事業、食品業者による出前事業の実施等		
H29実績評価	①市内産野菜を活用した加工品の給食利用 ・神戸玉ねぎミンチカツ、市内産キャベツ入ミンチカツ、市内産ポテト入コロッケ ②給食利用の市内産野菜の品目数の減 ・市内産野菜14品目→13品目(天候による) ③農業体験事業、食品業者による出前事業の実施等 ・農業体験事業 9校 479人児童参加、出前事業10校		評価
			S A B C
H30事業目標	①市内産野菜を活用した加工品の給食利用 ②給食利用の市内産野菜の品目数の増 ③農業体験事業、食品業者による出前事業の実施等		
評価担当者	公益財団法人神戸市スポーツ教育協会 総務課長 仲島 竜哉		

平成29年度 ミッションの達成評価シート2 [2次評価]

		記載日	平成30年9月6日
団体名	神戸市スポーツ教育協会	所管局名	教育委員会事務局

○所管局による総合評価(ミッションの達成評価)[2次評価]

	【ミッション毎の評価】	総合評価
コメント	<p>1 ……評価A (上記評価の理由) 市民体育大会や六甲シティマラソン大会などの市民参加型イベントを継続して開催するとともに、トップアスリートとの交流機会やトップチームの試合観戦機会を提供し、市民がスポーツに親しめる環境づくりに貢献した。さらに、神戸総合型地域スポーツクラブの活動支援については、クラブ間の交流支援及びスポーツリーダー等への安全講習会を行うとともに、クラブの求めに応じて指導員を派遣し、ニュースポーツなどの体験事業を実施した。</p> <p>協会関連事業の参加者数は350万人にのぼり、中期経営計画における29年度目標値である340万人を上回るなど、総合的にみて目標以上の取り組みができています。</p>	<p>S</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p>
	<p>2 ……評価A (上記評価の理由) 業者への衛生講習会・食品工場への立ち入り調査を定期的に適切な内容で行っているため。</p> <p>給食利用の市内産野菜の品目数が天候により前年度の14品目から13品目に減ったものの、市内産野菜を活用した加工品を給食利用するなど、地産地消の推進に取り組んでる。また、農業体験事業が昨年度の8校・454人から9校・479人に、出前事業が2校から10校に増加しており、食育推進にも取り組んでいるため。</p>	
<p>対応方法</p> <p>(総合評価がB又はCの場合は必ず記載)</p>	/	
評価担当者	1…スポーツ体育課長 上田 訓弘 2…健康教育担当部長 山下 弘文	